

提案事業名	富士見市石造物調査〔Ⅲ〕南畑編の調査事業
提案者	富士見市資料館友の会拓本部会
担当部署	難波田城資料館

1 事業の必要性	
公共的な課題の解決や地域の活性化等について、現状を把握し、市民に必要とされている事業である。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 先人の知恵や技術にふれることは大切と感じます。 ● OK ● 歴史的価値のある物を保存していくのは意義のある活動だと思う。 ● 富士見市のこれからの子どもたちに伝えられると良い。 ● 市民に必要とされているかどうかわかりませんが、歴史的な物の保存としては大切なことと思う。 ● ◎
2 公益性及び市民サービスの向上	
成果が不特定多数の市民に波及する。 市民サービスの向上につながる。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● OK ● 残念ながら成果が資料作成で終わっており、活用されていない。小学校などに資料として提供するなど積極的に活用してほしい。 ● 興味のある人には良い経験だと思う。 ● ○ ● サービスという当たりでは違うと思う。 ● ◎
3 具体性継続発展性	
事業計画が具体的で実現可能である。 予算が適切に積算されている。 実施までのスケジュールが適切である。	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的かつ、必要な物や示されていると思います。 ● OK ● 問題ないと思います。 ● ○ ● ○ ● 継続はしたほうが良い。 ● ◎

4 協働の必要性

事業提案者と市との役割分担が明確で、相互の特性を活かしている。

事業目的のための、事業提案者と市の協働の必要性が明確である。

意見 ● OK

● 地味な活動ではあるが、歴史的な資料を残すという意義があるので、使途の協働の必要性は十分あると考える。

● ○

● ○

● ◎

5 発展性

地域課題の解決や地域の活性化の創出が期待できる。

意見 ● スマートフォン等を用いて、子どもや、親子で楽しめるのではと感じました。

● あまりない。

● 頑張ってもらいたい。

● ◎

6 事業実施能力

事業提案者には、事業実施のために必要な体制等がある。

事業提案者には、事業の実施に対する熱意があると認められる

意見 ● 永年の活動で培われたものがあると思います。

● OK

● 難波田城資料館との連携が取れているので良いと思う。熱意はあると感じる。

● ○

● ○

● 体制はあると思う。熱意はあるように感じた。

● ◎

意見・評価

- ・拓本技術を伝えるためには必要と思う。
- ・活動が市民全体に認知されていない。
- ・調査で得られた資料をもとに、富士見市の歴史を教育委員会と連携して子どもたちに伝えてもらいたい。提案に同意。

今まで助成金を申請していないことに驚きました。古い石仏を調査し研究・発見はとても素晴らしいと思いました。これからも続けてほしい。

身近な文化財を知ることや、それに関する技術や知識をつないでいくことは大切なこととお話を伺って感じました。

これまでの事業を続けるためにも新しい技術の導入をすることによって若い世代の参入も見込まれる。身近にある歴史や貴重な資料を記録にとどめておくことは大切なことである。

行っている活動は大変意義のあるものであり、市との協働の必要性は十分にあると思います。一方で一部の人のみだけの活動となっており、資料が広く市民に活用されていないのが残念。ぜひ、夏休みなどに子どもたちと一緒に活動する機会を持つとか、小学校の生活の授業に資料を提供するなどしたらよいと思う。

富士見市の歴史を知るきっかけとなる石造物調査。素晴らしいことだと思う。大変だと思いますが、ぜひ達成してほしいです。

広報・チラシで大勢の市民が見学しています。何の事業でも高齢化しているので集まってもらうのが大変です。頑張ってください。

市民全体として考えると、この内容の事業がどこまで必要なのかと考えてしまうが、保存と思うと必要なのではないかな。

私は南畑出身なので南畑完結編を完成させてほしいと思いました。また、調査でデジタルを用いるため中学生や高校生も少しは興味を持ってくれると思いました。そして、「富士見市の再発見」をしてほしいです。